

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

全国会議ニュース



2026年1月26日発行 (No.45) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

<https://www.f-zenkoku.net/>



沖縄 与那国島の日本在来種「与那国馬」。国の天然記念物に指定され、130頭しか生息していません。彼らが棲む島をいつまでも「平和な島」として守っていききたいものです。



2026年 1月

人材確保の困難な状況を、力を合わせ乗り越えていこう！

社会福祉経営全国会議

「人材確保対策部会」の取り組み紹介と報告

－人材確保対策部会のスタッフを募集しています－

「職員採用の募集をしても応募すらない」「採用がいまだにゼロだ」・・・。

会員法人からは「悲鳴」とも聞こえる厳しい実情の声が返されています。さらに、「せっかく費用をかけて採用してもすぐにやめてしまう」「人材派遣の会社に頼むとびっくりするような費用を請求された」など、採用だけでなく、人材確保・育成全体にも厳しい実態が見受けられます。

全国会議では、そうした会員法人の実態を把握し、会員の要求と養成校の状況を踏まえ、人材確保・育成に会として取り組んでいます。「人材確保部会」は、全国会議の専門部会として、主に人材確保・定着、また取り組みを通じた労働条件の再点検、改善をめざしています。その「人材確保対策部会」の取り組みをご紹介します。

◆「人材確保対策部会」とは・・・「多くの会員法人が直面している人材確保の課題を会として取り組む」こと。さらに、「全国会議としての人材確保対策を具体化させるにあたり、何が求められているのか、何ができるのか、を検討する」に取り組んでいます。

具体的取り組みとしては・・・

- ①全国版「夢をかなえる福祉のひろば」の開催
- ②養成校の先生とのつながりを広げ、懇談会の開催
- ③全国会議としての「求人情報サイト」作り

を中心としながら、人材確保対策につながる様々な課題についても議論しながら進めていきます。

さらに、人材育成・定着も含めた経験交流、求人する会員法人の労働条件の再点検、処遇改善施策の検討等々、着手したい課題をたくさん持っています。



人材確保対策部会 スタッフ募集！

人材確保・定着・育成、養成校とのつながりづくり、求人広報＝情報サイトづくりなどの活動にかかわっていただける方を募集しています。

部は3つの専門「チーム」(「夢かなチーム」「養成校懇談会チーム」「サイト作成チーム」)毎に活動をしています。関心のあるチームに参加し、取り組みにご参加ください。

また、他法人の先駆的経験や情報が得られる魅力もあります。

ご希望の方、質問ある方も事務局までご連絡ください。

事務所へのメールは jimukyoku1@f-zenkoku.net

上記のサイトへは <https://sites.google.com/f-zenkoku.net/yumekanasites/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

【人材確保対策部会では法人での実態と取り組みや対策の交流を進めています】

部会では各法人からは、人材確保が厳しい現状と、それに対する具体的な施策の報告がされました。

◆採用難の現状と独自対策

A法人/「夢かな」の取り組みを通じて紹介を受け採用に繋がり、奨学金の法人立替払い制度を新設したことに養成校からの評価を得ている。

B法人/ 多くの欠員が続き、中途採用に注力している。スカウトメールや社協の人材センター経由での採用活動を行っている。主任・管理職になりたがらない職員が増えているという課題もある。

C法人/ 採用決定後も新卒職員の離職率に着目しており、辞める理由を調査し、研修の改善を課題としている。

D法人/ 採用決定者に対し、食事をしながら同期の繋がりを作る「スタート研修」を実施した。また、独自の奨学金保障制度を設けている。

◆若手職員の育成

E法人/「夢かな広場」への若手職員の参加が、彼らの研修や成長の機会となっている。採用定着に加え、職員育成の観点からも部会活動の意義がある。

【各作業チームの取り組みなどをご紹介します】

「夢かな」チーム

第3回 社会福祉が学べる就職フェア・夢をかなえる福祉のひろば報告

日時：2025年11月1日(土)10時00分から12時05分

場所：オンライン

主催と担当：社会福祉経営全国会議

人材確保対策部会 夢をかなえる福祉ひろばチーム



1.「夢をかなえる福祉のひろば」を開催の経緯

社会福祉経営全国会議が、会員法人が直面している職員確保の課題に会として取り組むことを提起し、2023年6月に人材確保対策部会が発足しました。人材確保対策部会では、2023年度に「全国版 夢をかなえる福祉のひろば」を計画し、2023年8月に「夢をかなえる福祉のひろば」チームが発足しました。

2.「夢をかなえる福祉のひろば」を開催する目的

- ①福祉の仕事の魅力を伝える機会とする。
- ②人材確保につなげる。
- ③参加法人の発信力と労働環境整備の向上につなげる。
- ④働くイメージを持てるような機会とする。

3. 第3回「夢をかなえる福祉のひろば」企画構成

第一部 全体会 オープニング動画、社会福祉経営全国会議加盟法人職員劇団(関西さつこば)による「福祉のしごとって何だろう？誰もが幸せになるために」寸劇映像、利用者・保護者の声の映像

第二部 分科会 ①社会福祉の仕事を知りたい、聞いてみたい
②なぜ今の仕事を選んだか、働いてみてどうだったか
③仕事の魅力、大変なところ

第三部 法人ブース 法人ブースに申し込んだところが、1分間で法人紹介を行う。
その後、法人ごとのブレイクアウトルームに分かれて参加者と交流する。

4. 当日参加者

100名を超える参加がありました。

◆「夢かな」開催内容の振り返り

第3回夢かな広場の開催後、参加者からは良い感想が寄せられており、イベントの中身は充実している。特に、参加職員からは、自身の学びや障害福祉以外の話が聞けた点が評価された。

◆今後の開催コンセプトと位置づけに関する意見、これからの取り組み案

・「出張夢かな」について：年1回の全国開催だけでなく、「出張夢かな」として学校や就職フェアに積極的に出向く形式も必要。

・社会的取り組みとしての位置づけの拡大：「夢かな」を福祉分野で働く人を増やしていくための社会的取り組みとして位置づけ、若い人たちが福祉を「目指す職業」として選ぶための出会いの場とするべき。そして取り組みの対象を養成校の教員や学生だけでなく、高校生などやその保護者、また、現在悩みを抱えている現職員にも広げていくべき。

◆2026年度は10月17日に「全国版 夢をかなえる福祉のひろば」を開催予定

「福祉を拓く懇談会」(養成校懇談会) チーム

◆「福祉を拓く懇談会」(養成校懇談会)とは？

昨今の福祉を志す学生の減少、また福祉の仕事を選択する学生の減少と福祉現場における職員不足は、たいへん深刻なものです。「養成校懇談会」は、養成校の先生方と現状を共有し、福祉を志し学び、福祉で働く人々を増やすために何ができるのかをともに考えたいとの思いで企画をいたしました。あわせて、ゆたかな実践と安心して働き続けられる職場づくりに努めている社会福祉法人の全国組織である社会福祉経営全国会議を知っていただく機会になることも期待をしています。

養成校からの実習の受け入れや、インターンシップの受け入れなども積極的に行い、養成校の先生方と法人が一緒になって「人材を人財に育てる」ことをめざしていきたいとおもいます。

- これまでの取り組みは… 2023 年度 12 月 13 日
2024 年度 6 月 12 日 2025 年 2 月 25 日



◆「福祉を拓く懇談会(養成校懇談会)」案内

私たち一般社団法人社会福祉経営全国会議は、地域や福祉領域、法人を 超えてゆたかな実践と安心して働き続けられる職場づくりをめざし活動しております。

養成校の先生方と社会福祉事業経営者が現状を共有し、福祉専門職を志し学び、福祉領域で働く人々を増やすために何ができるのかをともに考えたいと懇談会を企画しております。

ご多忙とは存じますが懇談会にご参加を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

日時： 2026年2月24 日(火) 18時～20時

開催方法： オンライン(ZOOM)にて開催

※案内チラシは下記のコードからも見ていただけます
[20260224第4回福祉を拓く懇談会](https://www.f-zenkoku.net/topics/2646/)

[会チラシ.png](#)

《主な内容》

【全体会】 18:00～

- 社会福祉経営全国会議会長挨拶
- 実践報告
「福祉の仕事の魅力を伝える出前授業」
1、大学の講義の一コマで保育の魅力を伝える…多摩福祉会
2、中学の授業で障害福祉について語る…みぬま福祉会

受け入れてくださった学校の先生のコメント

【懇談会】 グループで討議を行います。 18:50～

- テーマ「福祉の魅力の発信」
1、福祉をめざす学生をふやすために
中学・高校へのはたらきかけ、大学等でののはたらきかけ
2、福祉で働きたいと思う人をふやすために
最近の学生の動向



《参加について》

- 参加対象：
養成校関係者
社会福祉事業経営者
- 参加費： 無料
申込みフォーム：
<https://forms.gle/hCM8T3VsUL3xfV7X8>



ホームページ (ZOOM情報はこちらから)
<https://www.f-zenkoku.net/topics/2646/>



「サイト作成チーム」

◆「サイト作成チーム」とは

学生・求職関係者にInstagram・TikTok・「夢かなサイト」などを活用して会員情報・人材確保対策部会の取り組みを発信しています。

また、会員(法人)の発信力向上のため、「インスタ学習会」などを行っています。

◆これまでの取り組み

【 まずやってみよう 「初心者向けのインスタ教室」 2024/2/16 】

全国会議としてInstagramを始めとするSNSを通じて「夢をかなえる福祉の広場」開催についてや、会員法人の紹介に取り組んでいます。

法人や施設の魅力を若者に伝えるツールとしてInstagram、TikTok、X(ツイッター)、フェイスブック等のSNSの活用は有効です。でも、「やりたいけどわからない」「何から始めたらいいの」「どうやってやるの」という声が届いています。そこで、法人関係者向けの「インスタ教室」等を開催しています。

ー参加者から感想ー

▲ 総主任 保育

閲覧はしたことがあるのですが投稿は未経験です。今回は初心者の方にとって、とても丁寧にわかりやすく説明していただきありがとうございました。

▲ 法人理事長

SNSを活用しようと準備はしていますが、そもそもがよくわかっていなかったもので、勉強しました。保育士募集をしたい。という思いと、「この保育園がいい」と選んでもらいたいということは、繋がっているもので、発信していきたいと思っています。保育園そのもののイメージアップになると思っています。

【 少し複雑な応用としての「インスタ教室 ～応用編～」 2025/12/15 】



「応用編」として、「Instagram」を活用した実践教室を行っています。

「インスタ」を活用した取り組みの交流は好評で、たくさんの申し込みがありました。「教室」の中では、実際にインスタを使っている職員募集を行っている法人から実践紹介をしていただきました。

ー参加者から感想ー

▲ 園長 保育 「ホームページ・Instagram」に取り組んでいます

Instagramは法人で始めて、定期的に投稿しているもののフォロワーが増えないのが悩みでした。#を使ったり、ストーリーズへの投稿などこれからできることが見つかりよかったです。職員採用という目線での投稿を今後積極的にしていきたいと思いました。

▲ 事務長 障害 「ホームページ、facebook、Instagram」に取り組んでいます

現在、Instagramを法人で使ってはいますが、活用方法や使うようになった経緯などを3法人から聞くことができ、自法人での活用の見直しにあたって非常に参考になる話を聞くことができました。自法人での活用を推進していくため、まずは今回の報告なども踏まえて一度話をして、少しずつ取り組んでいこうと思いました。

◆私たちが作った「夢かな」サイトです (QRコードからもご覧)

<https://sites.google.com/f-zenkoku.net/yumekanasites/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

◆「夢をかなえる福祉のひろば」インスタはこちらから

